ほけんだより

かのん保育園　Ｈ３０．１０月号

夏の暑さもおさまり、秋らしくなってきました。さわやかに吹く風が秋の深まりを知らせてくれます。季節の変わり目で体調を崩しやすい時期でもあるので、手洗い・うがいや衣服の調節などをして、風邪を予防しましょう。

１０月１０日は目の愛護デー

子どもの目は毎日発達していて、両目の視力機能は６歳頃にほぼ完成すると言われています。その後に視力が低下するのは、幼い頃の姿勢や体の動かし方が関係しているそうです。自然の中で十分に遊ばせ、外の景色をたくさん見せることでお子さまの視力を育てていきましょう。

こんな様子は危険信号！

- テレビや絵本に近付いて見る
- 明るい戸外でまぶしがる
- 目を細めて見る
- 上目遣いに物を見る
- 目つきが悪い、目が寄っている
- 見る時に首を曲げたり、頭を傾けたりする

このような症状が見られると斜視や弱視の可能性が考えられます。子どもは視力が悪いことを自覚できないため、上記のような症状がないか普段から気にかけて見るようにしてください。

～インフルエンザについて～

嘱託医からの情報によりますと、今年は例年よりも早くインフルエンザの発生がみられました。早目に予防接種の計画をたてインフルエンザを予防しましょう。インフルエンザは大人からこどもへ感染することも多いので家族全員で予防接種を受けられるといいですね。

【インフルエンザ予防接種】

発症を抑え、肺炎や脳炎などの合併症を防ぐ重症化防止効果があります。ワクチンは効果を発揮するまでに約２週間かかり、半年程度効果が期待できます。急性の病気にかかっている場合や、発熱している子は予防接種を避けたほうがよいでしょう。

予防接種後は副反応の恐れがあるため接種してからの登園はできませんのでご協力お願いします。

予防接種後は予防接種・健診確認届の提出をお願いします。

秋は薄着の服装で

１０月になると肌寒く感じる朝が増え、ついつい子どもに厚着をさせたくなります。しかし、本格的な寒さを迎える前のこの時期に薄着の習慣を付けておけば、かぜを引きにくい体になります。外気を肌で直接感じることで自律神経が整い、病気への抵抗力が高まるからです。“大人より１枚少なめ”を目安に、薄手の衣服を重ねるなどして、じょうずな体温調節を行いましょう。

病後児保育ひかり利用状況（8/21～9/20）

利用人数　71 人（きらら保育園 50 人　きらら保育園以外 21 人）

＜年齢＞　０歳児：13 人　１歳児：25 人　２歳児：13 人　３歳児：14 人　４歳児：２人
５歳児：０人　小学生：４人

＜病名・症状＞　重複あり

急性上気道炎：40 人　喘息・喘息様気管支炎：26 人　　気管支炎・肺炎：２人
ＲＳウイルス感染症後：２人　急性胃腸炎：２人　感染性胃腸炎：２人